



いきいきまさきっこ 7月号

松前町立松前幼稚園
令和6年7月2日

～ みんなで「あ・い・う・べー」 ～

梅雨期になり、日中の蒸し暑さが本格的な夏の到来の近さを感じさせます。園庭では「あつーい！」と言いながら泡遊びや砂場遊びを楽しむ子どもたちの姿が見られています。今後もしっかり水分補給を行いながら、体調の変化に気を付けて過ごしたいと思います。

さて、皆さんは子どもの会話を聞いていると「聞き取りにくいな」「赤ちゃんことばが抜けないな」などと感じることはないですか。ある記事で「言語獲得期の子どもは、身体で触れる・目で見ると・耳で聴くなど、さまざまな感覚器官を通して言葉を発達させていく。また、言葉は必ず周囲の人との触れ合いの中から育まれているが、近年はマスクで口元が隠れていて口の動きが見えなかったり、表情が分かりづらかったりして正しい言葉の獲得に少なからず影響している」とありました。言葉の発音の完成時期は右上図のように獲得されていくと言われ、発音の不明瞭さや滑舌は舌の筋肉と唇の使い方が影響しているようです。



そこで数年前より保育に「あいうべ体操」という口の体操を取り入れ、遊びを通して唇や舌の筋肉を動かしています。初めは恥ずかしそうに口を動かしていた子ども達も、回を重ねるごとに口を大きく開け、舌を思いきり出したりするようになりました。今年度のうさぎ組では、隣に座っている友達や教師とどちらが舌を長く出しているか競争している姿が見られています。この「あいうべ体操」をきらきら星の歌に合わせてするとリズムよく口を動かしやすい様子が見られます。「あいうべ体操」は口やのどの筋肉を鍛え、口呼吸から鼻呼吸へと変えていくことで風邪などの病気の予防にも繋がるようです。また、大人にもいい効果があり、小顔効果やほうれい線などのしわ

の解消になるそうです。お風呂に入っている時など、親子で向き合い、互いの動きを見せ合って楽しみながら発音の獲得へのきっかけになればいいと思います。

(文責 渡邊裕月)

保育のねらい

7月はこんな風にすごしたいな



- 先生や友達と一緒に開放感を味わいながら夏の遊びを楽しむ。
 - ・ 水の心地よさを全身で味わいながら遊ぶ。
 - ・ 夏の生活の仕方を知り、自分で身の回りのことをしてみる。
 - ・ 野菜や生き物など身近な夏の自然に触れ、そのものを感じ取る。



- 先生や友達と一緒に夏の遊びを楽しむ。
 - ・ 水の心地よさを味わいながら、全身を使って伸び伸びと遊ぶ。
 - ・ 愛着をもって夏野菜を育てたり収穫を楽しみにしたりする。
 - ・ 先生や友達と思いを出し合いながら遊んだり活動したりする。



- 自分なりに考えたり工夫したりしながら夏ならではの遊びをじっくり楽しむ。
 - ・ 素材や用具の組み合わせ方を考えたり工夫したりしながら遊びに必要なものを作る。
 - ・ 様々な体の動きを楽しみながら水遊びをする。
 - ・ 栽培活動を通して発見したことを伝え合ったり確かめたりする。
 - ・ 小学生や中学生、地域の人など身近に生活する人との触れ合いを楽しみながら、遊んだり活動したりする。



6月3日(月)から松前幼稚園に新しく職員が増えました。
よろしくお願いします。



保育補助